

令和5年度自己評価結果公表シート

大開幼稚園

1.本園の教育目標

- ☆ 健康で安全な暮らしのできる子ども
- ☆ 自分のことは自分でできる子ども
- ☆ 友達と仲良くできる子ども
- ☆ 自分から進んで取り組み、工夫しながら遊べる子ども
- ☆ 心情豊かな子ども

2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ・新しい生活様式にあった行事の取り組みを計画し、実践する。
- ・特別支援教育を通して、園全体の幼児理解を充実する。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	達成及び取り組み状況
(1) 新しい生活様式の中で幼稚園生活を工夫し、計画、実践することができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの行事をコロナ禍以前の形式に戻すことができた。(夏祭り・運動会・園外保育・もちつき・お別れ会・保育修了式・新入園児と遊ぼう会) 各行事を計画実践することで、子どもたちが多くの楽しい経験の中で、友達や異年齢の関わりを深めることができ、互いに成長することができた。 ・身についた良い生活習慣(手洗い・うがい・消毒)のおかげで、周りで広がった感染症も一度インフルエンザの学級閉鎖はあったものの、園内では大きく広がらずに過ごすことができた。
(2) 教職員間で幼児理解と支援の方法を共有することができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の保育の中で担任と介助教諭が子どもの様子を話し合い、幼児理解と支援の方法を模索しながら共有することで、一人一人に合った支援ができ、子どもの成長を促すことができた。 ・特別支援教育相談事業で個別の指導計画をもとに話し合ったり、相談員の先生から教えていただいたりして、支援の仕方を共通理解し、実践できた。
(3) 保護者や地域の施設と連携し、子どもの成長をともに喜び合うことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な子どもについては定期的に保護者と話し合いの機会をもつことで、家庭での関わり方が変わっていった。また、懇談の後には全教職員に報告し、保護者の思いを共有したことで、子どもの成長を喜び合うことができた。 ・療育施設の先生に定期的に幼稚園に来てもらって、子どもの様子を見てもらい、話し合ったり、報告書のやり取りをする中で、同じ温度で子どもたちの成長を喜び合ったりすることができた。 ・初めて、幼小連携でみどり組が大開小学校に招かれ、5年生のランドセルを背負わせてもらったり、1年生の授業を参観した後、一緒に触れあって遊ぶことができた。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの行事をコロナ禍以前に戻すことができ、子ども同士の関わりが密になり、互いに成長する姿が見られた。しかし、生活発表会は、周りの感染症の増加もあり、クラスごとの発表となった。 ・全教職員が話し合いや報告を密にすることで、子どもの理解と支援の方法を共有して、全園児と関わることで、子どもの成長に繋がり、成長を喜び合うことができた。 ・支援の必要な子どもの保護者との日々の報告や懇談で、思いや支援の方法を共有して子どもの成長に繋がり成長を喜び合うことができた。しかし、思いや支援の方法が保護者に通じない場合もあり、難しさを感じ、より努力が必要だと思った。
----	--

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼稚園生活の充実	・行事の見直しとPTA活動の在り方を考える。
特別支援	・引き続き、子ども理解と支援の方法を共有し、子どもの成長に繋げる。

6.学校関係者の評価

ほとんどの行事をコロナ以前に戻すことができ、子どもたちの関わりが深まり互いに成長する姿が見られたこと、また、その様子を運動会や作品展、生活発表会、保育修了式の場で、保護者や地域の方に見てもらえたことで子どもたちの成長を実感していただき、評価してもらえた。

7.財務状況

公認会計士による監査にて、適正に運営されていると認められている。